

**\*体験版用の第一幕の台本です。**  
**製品版の台本とは異なりますのでご注意ください。**

BLボイスドラマ

## 「Devil's Bride」第一幕

台本

制作：きみりんこ。 (<http://www.geocities.jp/kimishiruko3218/>)

監督：口谷亜夜

脚本：Twins (<http://cats-box.jp/>)

プロローグ（こちらは体験版には収録されていません）

人間こそが、この世で一番恐ろしい生き物――。

俺たち一家が「魔獣の森」へ踏み込んだのは、そうした思いからだった。

父さんが騙されてサインをした、借りてもない金の借用証。

そのたった一枚の紙切れが、しがないパン屋を営んでいた俺たち一家を  
めちやくちやにした。

夜討ち朝駆けの借金取り。

騙した側に肩入れする役人。

奪われていく家財、仕事道具、パンの原料……。

事はやがて、俺が売り飛ばされる話へと及んだ。

借金取りとともに、成金趣味丸出しの衣装に身を包んだ男が、俺を品定  
めに来た。

父さんよりもずっと年上に見える、ぶくぶく太った前ハゲオヤジ。

そいつが脂ぎった顔を近づけて、ニタニタと気色悪い笑みを浮かべなが  
ら、おぞましい言葉を並べていく。

おじさんの恋人になれば、きみのご両親はあすにでもパンを焼ける。

男同士でもしっかり気持ちいい。痛いのは最初だけさ。

五年もすれば家に帰れるよ。おじさんは若い子にしか興味ないからね。

にくたいろうどう  
肉体労働を強いられると思っていた俺は、自分の売却先を知り愕然とした。

まえ  
前ハゲオヤジは、帰り際に養子縁組の書類を置いていった。

じんしんばいばい ごうほうてき おこな  
人身売買を合法的に行うためのものだ。

とう  
父さんはそれを破り捨てると、夜逃げを決意した。

——深夜。

おれ いえ す まじゅう もり ふ  
俺たちは家を捨て、「魔獣の森」へ踏み入った。

いぎよう まもの す けわ れんざん ふか もり  
異形の魔物たちが棲みついた、険しい連山からなる深い森だ。

た い で もの き  
立ち入って、生きて出られた者はいないと聞く。

ごつきよう つうこうしよう しやっきんと うば おれ  
だけれど、国境の通行証を借金取りに奪われている俺たちには、ここ  
しか道はなかった。

（※恐怖心を押さえつけるように、強い口調で）

にんげん おそ  
「人間より恐ろしい生き物がいるもんか！ ここを進もう！」

とう かあ おれ ことば うなず  
父さんも母さんも、俺の言葉に頷いてくれた。

おも かんが あま おれ いっか ころ  
いま思えば考えが甘すぎたけれど、俺たち一家の心は、それほどまで  
に磨耗していたんだ……。

【♪】※ジングル

# 第一幕体験版用1（成人向けシーンなし）

ここから

## 『第一幕 邂逅』

【♪】（——タツタツタツタツタツ……）※駆け足

（※長時間走ったの苦しそうな呼吸）

「ハアツ、ハアツ、ハアツ、ハアツ……んはっ……ハアツ、ハアツ、ハアツ……」

くらやみ ひか よつ 暗闇に光る四つの目玉と、森の枝葉をなぎ払う音が、執拗に追ってくる。  
にほん なが くび よ あし どうたい も 二本の長い首と、四つ足の胴体を持った、体長十メートルを超えるで  
いぎよう まじゆう あろう異形の魔獣。

とう かあ もり はい こし お 父さんと母さんは、森に入って腰も下ろさぬうちに、あいつに……食わ  
れた。

【♪】（——グウオオオオオオオオオオウツ！）※魔獣の咆哮

【♪】（——バサバサバサッ！）※枝葉が揺れる

【♪】（——逃げてっ！）※アルの母親の声

（※弱々しく）

「逃げる……。いつまで？ どうく？」

（※弱々しく）

「仮かりにこの森もりを出でられたところで、誰だれが俺おれを待まってるんだ？ どこへ帰かえればいいんだ？」

（※弱々しく↓徐々に強い口調へ）

「でも……父とうさんと母かあさんのためにも、俺おれは生いき延のびなきゃ！」

そう思おもい直なおして間まもなく、また最さい初しよの疑ぎ問もんを抱いだく。

走はしりながら、それをひたすら繰くり返かえす。

【♪】（——ガッ！）※木の根につまずく

（※驚きの声）

「うああっ！」

【♪】（——ズサーッ！）※転倒

（※苦しさを含んだ弱々しい息継ぎ）

「んはあ……はあ……はあ……あはあ……。はあっ……んはあ……はあ……ああああ……」

振り返ふりかえると魔獣まじゆうがほんの数メートルのところにいた。

【♪】（——グウオオオオオオオウツ！）※魔獣の咆哮

固かたそうな鱗うろこに覆おおわれた太い脚ふとあし、蛇腹状じゃばらじようの腹部ふくぶ、不規則ふきそくにしなる二本にほんの長なが

い首。<sup>くび</sup>

父さん<sup>とう</sup>も母さん<sup>かあ</sup>も、こいつの腹<sup>はら</sup>の中<sup>なか</sup>にいる。

(※恐怖心と悲しみを帯びたすすり泣き)

「ううつ……。父さん<sup>とう</sup>、母さん<sup>かあ</sup>……。ぐすつ……。うぐつ……。ひつく……」

【♪】(——ポトン) ※落涙

(※震える声で、弱々しく)

「父さん<sup>とう</sup>、母さん<sup>かあ</sup>……。俺も……。俺もそこに、行くよ……」

(※跳躍して剣を振る際の、勇敢な掛け声)

『やっ!』

【♪】(——ザシュッ!) ※剣で魔獣を斬る

【♪】(——ドンッ……ゴロッ!) ※魔獣の首が地面に落ちる

【♪】(——グウオオオオオオオオウッ!) ※苦痛を伴う魔獣の咆哮

(※驚きの声)

「な、なにっ!? だれっ!?!」

根元<sup>ねもと</sup>から斬り落<sup>き</sup>とされた魔獣<sup>まじゅう</sup>の首<sup>くび</sup>がひとつ。

それが陸<sup>りく</sup>に上<sup>あ</sup>がった魚<sup>さかな</sup>みたいにな、ビタビタと飛び跳<sup>と</sup>ねている。

【♪】（——グウオオッ！　グオオッ！　ングオオッ！）※魔獣の咆哮  
【♪】（——キラッ！　シャキーン！）※剣が輝く

（※クールに）

『落とした首は雄か。フツ、後家になったな』

【♪】（——グウオオッ！　グオオッ！　ングオオッ！）※魔獣の咆哮

（※クールに）

『案ずるな。すぐに添い遂げさせてやる』

【♪】（——タタタタタタッ！）※カートが駆ける

【♪】（——キラーン！）※剣が輝く

（※跳躍して剣を振る際の、勇敢な掛け声）

『はあっ！』

【♪】（——ザシュッ！）※剣で魔獣を斬る

【♪】（——バサッ！）※マントが翻る

【♪】（——ドサッ……！）※魔獣の巨体が崩れ落ちる

（※クールに）

『頭が二つ。すなわち弱点が二倍。名前は飾りだったな』

言い終わると同時に、男が俺へ正面を向けた。

浅黒い肌と、精悍な表情のたくましい青年。

胸元や二の腕には、呪術的な文様を模した、赤いタトゥー。

銀髪の中からは、先細りの長い耳が、後方へ伸びている。

（※クールに）

『……大丈夫か？』

（※安堵のニュアンスを含む、弱々しい声）

「は、はい。助けてくれて……ありがとうございます」

（※クールに）

『近くに、俺の屋敷がある。休んでいくといい。立てるか？』

（※安堵のニュアンスを含む、弱々しい声）

「はい。んっ……。あ、いえ……立てません。下半身が震えて、力が…  
…」

（※クールに）

『そうか……。ならば、背負ってやろう』

【♪】（——ガサゴソ……）※カートがアルを背負う



(※突然苦悶の声を上げる)

『……………うぐっ！？　くうっ……………かはっ……………！』

(※心配そうに)

「あ、あの……。どうしたんですか？」

(※クールに取り繕う)

『ん……。いや……………なんでもない』

男おとこが俺おれを抱かかえ上げようとしたが、腰こしを起おこして四よつん這ばいにさせたところうでで、腕うでを止とめた。

(※クールに)

『俺おれの名なは……………カート。名前なまえ、聞きいてもいいか？』

(※おどおどと)

「は、はい。アルです」

(※クールに)

『アル、か。男おとこにも女おんなにも見みられる名前なまえだな。ずいぶんと愛あいらしい顔かおをしているが……………少年しょうねん、か？』

(※おどおどと)

「はい。俺おれ、男おとこです」

(※「男……か」までクールに。以降苦悶の声)

『男……か。んぐつ……うはあ……ぐふう……』

カートさんの言葉に、呼吸の乱れが交じる。

魔獣をあつけなく倒したように見えたが、やはり恐怖心や疲労があつたのだろうか。

第一幕体験版用1 (成人向けシーンなし)  
ここまで

第一幕体験版用2 (成人向けシーンあり)

ここから

(※苦しそうに)

『アル……』

(※おどおどと)

「は、はい」

(※苦しそうに)

『……すまないっ！』

(※驚き↓悲鳴)

「えっ？ うわあっ！ あああっ！？」

【♪】（——ビリッ！）※ズボンを破る音

カートさんの爪<sup>つめ</sup>すべてが、お尻<sup>しり</sup>を縦<sup>たて</sup>に引<sup>ひ</sup>つ搔<sup>か</sup>いてきた。  
ズボンが散<sup>ち</sup>り散<sup>ち</sup>りに寸断<sup>すんだん</sup>され、汗<sup>あせ</sup>で湿<sup>しめ</sup>っていた臀部<sup>でんぶ</sup>が、冷<sup>つめ</sup>たい夜風<sup>よかせ</sup>に晒<sup>さら</sup>される。

（※悲痛な叫び）

「なっ……なにを……ひうつ！？ なにすんだよ！ いやだっ！ 離<sup>はな</sup>せ  
っ！」

（※苦しそうに）

『アル、強張<sup>こわば</sup>るな。力<sup>ちから</sup>を抜<sup>ぬ</sup>け……んはあ……くう……』

（※不安を含んだ弱々しい声）

「ううつ……な、なに……？ ぬるぬるした硬<sup>かた</sup>いのが、お尻<sup>しり</sup>の割<sup>わ</sup>れ目<sup>め</sup>に入<sup>はい</sup>  
ってきた……。人肌<sup>ひとはだ</sup>の感<sup>かん</sup>触<sup>しよく</sup>がするけど……これ、指<sup>ゆび</sup>じゃ……ない。太<sup>ふと</sup>  
すぎるし……指<sup>ゆび</sup>は十本<sup>じゅっぽん</sup>とも、脇腹<sup>わきばら</sup>掴<sup>つか</sup>んでくる……。まさか……これっ  
て……」

（※苦しそうに）

『うつ……ぐう……穴<sup>あな</sup>は……こ、ここか……。ぐっ……くうう……』

(※不安を含んだ驚きの声)

「これって……チンコ！？ チンコをお尻しりに入れようとしてるの！？」

【♪】(——ぬちゅっ……ぐちゅっ……にちゅっ……)※先走り汁が絡む

(※痛そうに嫌がる)

「ひっ……ひあああ……はあっ……硬い……チンコが……お尻しりの穴……破ろうとしてる……。やめて……痛い……痛いっ！ ダメツ！ それ以上入れないでっ！ 入りっこないって！ 皮膚ひふが破けちゃう！」

(※苦しそうに)

『くっ……アル……入り口ぐちを……締めるな。あぐっ……い、いくぞ……入るぞ！ くっ……んぐあああっ！』

(※アナル挿入。苦痛をともなう悲鳴)

「ひぐあっ！？ あっ……あぐっ……うくあああああああっ！」

(※苦しみのニュアンスを含む喘ぎ)

『くううう……熱あつく……湿しめっぱい……。これが……人ひとの体からだの中なか、か……。ううっ……ぐっ……はああっ！』

【♪】(——パンパンパン！)※ピストン音

(※苦痛をともなう悲鳴)

「いたっ！　いたいっ！　やめてっ……早く抜いてっ……抜い……んぐ  
ああああっ！　はぐっ！　いぎいいいい！」

（※苦しみのニュアンスを含む喘ぎ）

『くっ……がっ……うぐっ！　腰が……止まらないっ！　こんなに満た  
された心持ちは……は、初めてだっ！』

（※苦痛をとまなう弱々しい声）

「やめてえ……やめてよお……。お尻のほうから、肌が切れたような痛み  
してるよお……。絶対血が出てるよお……。おなかの中がチンコで埋ま  
って……なんだか息苦しいよお……んあっ、ああっ、ひぐっ、うううっ、  
んぐっ、ンああっ、あああ……」

（※苦しみのニュアンスを含む喘ぎ）

『うっ、うっ、ああっ……アルの体……いいっ、いいぞっ！　うっ……  
くうっ……はがっ……ぐぐっ！』

（※苦痛を伴う喘ぎ）

「あぎっ……ひがあ……あぐっ！　お尻、火傷したみたいにヒリヒリし  
てるっ！　熱いっ！　ひうっ……あひあ……ふぐあ……あが……はぎゅ  
うっ！　よしてえ！　そんなに早く動かさないでっ！　体の中が……  
よじれてしまうよお……はひっ……ひぎあっ……ぐあふっ！」

（※苦しみのニュアンスを含む喘ぎ）

『よじれるものか……。まっすぐに貫<sup>つらぬ</sup>いているのだから……。ふつ、はっ、くっ、あっ！』

（※悔しそうに、弱々しく）

「うぐっ……。ちくしょおお……。おまえ、俺<sup>おれ</sup>を助<sup>たす</sup>けたんじやなかったんだな……。俺<sup>おれ</sup>をこうするために、魔獣<sup>まじゅう</sup>が邪魔<sup>じゃま</sup>なだけだったんだな……。その長い耳<sup>ながみみ</sup>、おまえも魔獣<sup>まじゅう</sup>の仲間<sup>なかま</sup>なんだろ……。いや……。魔獣<sup>まじゅう</sup>をあんな簡単に倒<sup>たお</sup>すくらいだから……。おまえ、魔獣<sup>まじゅう</sup>の親玉<sup>おやだま</sup>なんだろお……」

（※苦しみを堪えながら）

『ああ、否定<sup>ひてい</sup>は……。しない。だが、だからといって抵抗<sup>ていこう</sup>せぬことだ。いまは俺<sup>おれ</sup>に、深々<sup>ふかぶか</sup>と貫<sup>つらぬ</sup>かれているのだからな。くああ……。はぐっ……。ああっ……。』

（※悔しそうに、弱々しく）

「くそお……。こんなことになるなら……。魔獣<sup>まじゅう</sup>の森<sup>もり</sup>になんて、入<sup>はい</sup>らなきやよかった……。俺<sup>おれ</sup>が人買<sup>ひとか</sup>いの言<sup>い</sup>いなりになつてれば……。父<sup>とう</sup>さんと母<sup>かあ</sup>さんは助<sup>たす</sup>かったのに……。ううっ……。あうう……。はぐっ……。ひうっ……。ぐすっ……」

（※申し訳無さそうに）

『そうか。アルは両親<sup>りょうしん</sup>をこの森<sup>もり</sup>で……。悪い<sup>わる</sup>ことをしたな。ああっ……。くふう……。うっ……。』

(※悔しそうに、すすり泣く)

「ぐすっ……ううっ……父さん……母さん……あぐっ……うひあっ……かはっ……ぐすっ……うっ、うううう……」

(※慰めるように)

『アル……。そんな哀しい声を……。出すな。おまえの哀しい声、全部俺が飲む……。』

(※嫌悪感を露にして驚く)

「うああっ？ 俺に乗っかってきて……。なにする気だよ！？ うっ……よせっ！ 顔近づけんなっ！」

(※キス。甘く囁くように)

『愛らしい唇だ……。んっ……。ちゅっ……。』

(※キス。嫌悪感を露にして嫌がる)

「んっ……。ンむぐっ……。んむむっ！ やめろっ……。男同士でキスなんて……。ンンッ……。顔掴んでる手え……。離せ……。んちゅっ……。うむむっ……。んぐむう……」

(※キス。甘く囁くように)

『よほど体が渴いていたと見える。口では嫌がっても、俺の唾液を求めて舌が絡みついてくる……。んっ……。ちゅっ……。』

(※キス。嫌悪感を露にして嫌がる)

「んちゅっ……ちく……しょお……。こんな汚きたないこと……したくないのに……喉のどが勝手かってに……こいつの唾つばを飲み込んでいく……んちゅっ……むちゅっ……。喉のどから胃いまで……熱あつい唾つばがチロチロ垂たれ落おちているのがわかる……気き持ち……悪わるい……んっ……ちゅばっ……んぐっ……」

(※キス。甘く囁くように)

『ちゅっ……んはあ……。接吻せつぶんの心地こころよさが、これほどとはな……。甘あまつたるい吐息といきの味あじ……癖くせになる。チュッ……んんっ……。アルの口内こうないの渴かわいたところ、残のこさず舐なめて潤うるおわせるからな……。んんっ……ン……アル……チュッ……んんっ……んああ……んちゅう……』

(※キス。嫌悪感を含みつつ、戸惑う)

「ンンッ……こくんっ。んはあ……ンちゅっ……んちゅばっ……あふっ……ンンンッ……。あああ……こんな気持きもちち悪わるいことしてるのに……甘あまいものを食たべたときみたい……頬ほおの内側うちがわがきゅうつてなる……ンッ……ちゅっ……!」

(※キス。甘く囁くように)

『俺おれもだ……。んんっ……ン……アル……チュッ……んんっ……んああ……んちゅう……』

(※キス。嫌悪感を含んで)

「ンッ……んちゅっ……ちゅばっ……んくっ……こくんっ。んはあ……」



ンちゅっ……んちゅばっ……あふっ……ンンンッ……」

(※苦しみのニュアンスを含みつつ、申し訳無さそうに)

『くっ……ダメだ……我慢がまんできん。口づけくちの心地こころよさで、血ちを幾いくばくか鎮しずめようとしたが……むしろ昂たかぶる！ アルを……激はげしく犯おかしたいっ！ なればせめて……早くはや終わらせるのが情なさけ！ うっ、ぐっ、はっ、あぐっ！』

【♪】(——パンパンパンパン！)※ピストン音

(※苦痛を伴う喘ぎ)

「はあっ……あぐっ……ひぐっ……ふはあ！ ああっ！ 痛いたいっ！ もうやめて……もうやめてよお……。キスならしていいから……お尻しりほじくるのはやめてえ……あぐっ、くあっ、はがっ、ひぐうっ！」

(※苦しみのニュアンスを含みつつ、官能的に)

『アル……。おまえの滑なめらかな肌はだが……俺おれの皮膚ひふの亀裂きれつを癒いやし……。おまえの柔やわらかな肉にくの洞穴どうけつが……狂くるおしく滾たぎる血ちの塊かたまりを鎮しずめてくれる……。俺おれは……俺おれはもう、おまえなしではダメかもしれない……くうっ、うがっ、ああああっ！』

(※苦痛を伴う喘ぎ)

「はあっ……あぐっ……ひぐっ……ふはあ！ く、苦くるしい……。腕うでで胸むねを締しめつけるの……やめて……かはっ……げほっ！」

(※苦しみのニュアンスを含みつつ、官能的に)

『ぐうっ……く、来るっ！ 精せいの巡めぐりの速はやさが、自慰じいのときと桁違けたちがいだっ！ 体中の血液けつえきが……陰茎いんけいに集あつまっていくっ！』

(※苦痛を伴う喘ぎ)

「あっ、くっ、ひあっ、あぐっ！ んぐっ……ぐう……んあう……ひあっ……はあっ！」

(※射精。苦しみのニュアンスを含みつつ、官能的に喘ぐ)

『繋つながったままで出すぞ……アル、んっ……くっ……アル……アルっ！ あああっ……うああああああっ！！』

【♪】(——びゅっ！ びゅっ！ びゅっ……！) ※射精音

(※苦痛を伴う喘ぎ)

「んっ……ひあああっ！ 熱あつっ……くうっ……んああああああっ！」

第一幕体験版用2 (成人向けシーンあり)

ここまで